

# 老健てらどまり

書：はまなす棟 ご利用者



## 令和6年度の 重点方針

事務長 富田 幸二

日頃より当施設の施設運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます

この度、高齢者複合施設サクラレ福住から異動となりました、事務長の富田と申します。

当施設は平成七年に開設して以来、今年で三十年目を迎えさせていただくこととなりました。これは、ひとえにご利用者、ご家族、関係者の皆様、そして地域の方々のご理解とご協力の賜物と感じております。引き続き皆様のご期待に沿えるように緊張感と高揚感を持ち続けながら、職務に励んでいきたいと思っております。

当施設は令和六年度、次の三点を重点方針として取り組みます。

- 一、多職種協働を強化し、良質なチームを作る
- 二、「在宅強化型老健」としての機能を高める
- 三、働きやすい職場環境を構築する

具体的には介護老人保健施設の本来の役割である在宅復帰支援に注力します。職員一人一人が、ご利用者とチームのために何が出来るかを主体的に考え、提案し、ご利用者の自立支援や業務改善につなげます。職員の腰痛予防対策としてノーリフティングケアの向上を更に進めます。

これらの取り組みを行いながら、笑顔が溢れる施設運営を目指していきますのでご指導並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 度 署 針



南棟 はまなす

副任介護職員

大竹 宏一

①ご利用者が笑顔で過ごせるために、職員は支援の中で「気づき」を養い、「ご利用者、ご家族の願い、現所の実態」をチームで把握し、常に最新に情報を記録・発信し共有します。

②専門職としてのプライドを持ち、ご利用者の自立支援、在宅復帰に繋がります。

③ノリノリフティングケアを実践し、職員の健康を守るだけでなく、利用者にとっても余計な緊張を与えない質の高いケアを提供します。



認知症専門棟 たんぽぽ

副任介護職員

石澤 倫

①認知症専門棟の職員として、「思いやり」のある心を常に持ち、ご利用者が不安なく過ごせるよう支援します。

②多職種で連携を図り、在宅強化型老健として、福祉用具を活用した自立支援・在宅復帰にチームで取り組みます。

③チームワークを意識し、働きやすい職場環境を構築します。



北棟 さくら・すみれ

主任介護職員

土田 麻由美

①職員一人ひとりが介護の専門性を強化し、チームで自立支援・在宅復帰につなげていきます。

②職員で共有する記録に正確性をもたせ、多職種で情報共有しケアの質の向上に努めます。

③風通し良く、働きやすい環境づくりを目指します。



デイケア棟

副任介護職員

福島 真知子

①挨拶や感謝の言葉などのコミュニケーションを基本として、昨年度取り組んだ『アサーティブコミュニケーション』を学び続け活用していく事で、互いの意見を認めあいながら意見交換を円滑に行い、情報共有を活発にします。

②多職種で情報を共有しながら、ご利用者一人ひとりに必要な自立に向けた支援を検討し、ケアプランを作成します。ケアプランについては確実にご利用者、ご家族へ説明と



パワーステーション

リーダー

介護予防インストラクター

田村 妙子

①自身が対応した案件の情報共有と記録を徹底し、対応者以外も積極的に記録の確認とフォローを行います。

②ご利用者の目標と支援方法を担当者が責任を持って組み立て、関係者全員で変化や効果を確認、共有し、ご利用者にとって有益なサービス提供を続けていきます。

③ご利用者や職員にとって、より良いと思うことは些細なことでも気軽に提案し、話し合い改善につなげます。

同意を得た後に、全職員に周知することで統一された適切なケアを提供していきます。

③月1回デイケアミーティングを開催します。そこでは各職員が議題を用意し、主となってミーティングを進行していきます。その際、リーダーが補佐し、心理的安全性に配慮しながら話し合いを円滑に進めます。

④基本的な感染予防や腰痛予防策を徹底することで、感染症や腰痛などによる欠員や人手不足を抑えます。



# 令和6 各部の 重点



## 相談員

総括主任支援相談員

白井大湖

- ①ソーシャルワーカーの立場から、個人・集団・社会の視点を持った中でご利用者やご家族の相談支援を行い、課題やニーズを的確に抽出できるように自らのスキルアップを目指します。
- ②空床や、ショートステイ利用希望があつた際等、柔軟に調整できる体制を常に整えます。
- ③ご利用者の意向に沿える支援が継続できるように、相談員として介入します。



## 看護課

主任看護職員

木村勝一

- ①看護職員としての職業倫理と責務を自覚した上で、多職種連携を推進します。その上で、互いの価値観や考えを認め合い、アサーティブなコミュニケーションで対象となるご利用者の最適なケアを共に検討します。
- ②経営栄養投与と喀痰吸引および口腔ケアに必要な専門的知識・技術の向上に努めます。また、異常の早期発見と介入に努め、前年度より入院されるご利用者数の減少を目指します。
- ③看護職員として感染症対策の先頭に立って安心安全な働きやすい職場を構築します。



## リハビリ

主任作業療法士

渡辺乃利子

- ①ご利用者の日常生活行為評価指標（BI）の数値向上と生活行為の質の向上を図ります。
  - ②福祉用具を用いたケアと姿勢ケアの技術を高め、自立支援と二次障害予防のノーリフティングケアを深化させます。
- 理学療法士8名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・介護予防インストラクター3名が力を合わせて支援させていただきます。



## 訪問介護

副任訪問介護員

保刈奈穂美

- ①要支援・要介護者及び身体障害者の家庭を訪問し、ご利用者ご家族の気持ちに寄り添うことを大切に、信頼関係を築いていきます。
  - ②サービスの手順を職員で共有することとを強化し、自立支援（できること）の維持・継続、重度化防止に向け、統一したサービスを行います。
- てらどまり訪問介護員5名、長岡市、燕市、出雲崎町を範囲に訪問させていただきます。



## 居宅介護支援事業所

副任介護支援専門員兼  
管理者

上木 功

- ①要介護者、またそのご家族からの依頼を受け、その方の有する能力や介護状況、環境に応じてご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう適切なサービス提供に努めます。
- ②行政、保健、医療及び各サービス事業所との連携を図り、ご利用者の自己決定を尊重し、その実現ためICFの視点を意識したケアプランを作成することにより、ご利用者が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう支援します。
- ③ご利用者、チーム（部署、施設全体）のために何が出来るのかを主体的に考え、アサーティブコミュニケーションを意識的に活用し、ご利用者の自立支援や業務改善につなげていきます。
- ④老健が在宅復帰を進めるのに併せ、ご利用者・ご家族が安心して在宅生活できるように、事業所と連携を密に図っていきます。
- ⑤地域包括支援センターからの受託に応じ、要支援の対象者に対し、その人らしさを引き出すと共に適切なケアマネジメント・介護予防サービスの支援計画の作成を行います。
- ⑥保険者受託契約に基づき、公平・中立の立場で迅速かつ丁寧な要介護・要支援認定調査を実施します。

# 寄付の紹介

老健てらどまり理容室様より 金3万円  
 東洋羽毛北信越販売株式会社様より 車椅子1台  
 ご寄付いただきました。ありがとうございました。

## 新規採用・異動職員紹介 よろしくお願いたします

新規採用



介護職員

馬場すみれ

常にご利用者の立場に立つて物事を考え、お一人お一人に寄り添うことができるよう努めてまいります。

新規採用



看護職員

青木みなみ

ご利用者の皆様が健やかに毎日をご過ごしていただけるように努めてまいります。

新規採用



看護職員

古川尚絵

ご利用者が安心・安全に過ごせるように今までの経験を發揮して努めてまいります。

異動



看護職員

中嶋裕一

ご利用者の皆様が健康で過ごしていただけるように専門職として職務に努めたいと思います。

異動



リーダー介護職員

吉田真樹

いち早くご利用者の皆様が望まれる生活のご支援ができますよう精進してまいります。

異動



理学療法士

五十嵐倫太郎

ご利用者が安心・安全に生活していただけるよう専門知識を發揮して努めてまいります。

### 相談(意見・苦情)

#### 窓口のご案内

ご利用者・ご家族より相談(意見・苦情)をお受けする窓口を設置しております。皆様の声をお聞かせ下さい。

#### 解決責任者

施設長 岡田圭三  
 事務長 富田幸二

#### 受付担当者

入所・ショート 白井大湖  
 通所リハビリ 中島優佳  
 訪問介護 保刈奈穂美  
 居宅介護支援 佐々木亜希子  
 パワーステーション 田村妙子

お気軽にご相談ください。

